

公共経営研究科要項
2009年度



早稲田大学 大隈記念大学院 公共経営研究科
The Okuma School of Public Management, Waseda University

<人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的>

公共経営研究科は、2003年に政府部門、民間部門およびNPO/NGO等シビック部門相互が協働して公共の諸問題の解決にあたる公共経営の分野で活躍する高度職業人、すなわち公共性をわきまえた高邁な指導者精神をもち、豊かな人間性と強い責任感をもった国家・地方・国際公務員、政治家、NPO/NGOスタッフ、ジャーナリスト、組織人一般を養成あるいは再教育し、日本社会の持続的発展と国際社会の安定に貢献することを目的としている。

<在学生への連絡等>

研究科からの連絡は原則として、本研究科ホームページを通じて行います。
休講情報、教材配布情報、その他重要なお知らせがありますので随時、確認して下さい。

公共経営研究科HP = <http://www.waseda.jp/seikei/osp/>



公共経営研究科事務所

場 所 : 早稲田キャンパス 26号館 11階

T E L : 03-3203-6150

E - M A I L : okumaschool@list.waseda.jp

<2009 年度 公共経営研究科暦>

前 期 2009年4月1日～9月20日			
行 事	日 程	時 間	対 象
早稲田大学大学院入学式	4月2日(木)	10:00～	新入生
研究科始業式 / オリエンテーション	4月2日(木)	13:00～15:00	新入生
前期科目登録(1次登録)期間	4月2日(木)～4月4日(土)	事務所開室時間内	全員
奨学金登録期間	4月2日(木)～4月6日(月)	事務所開室時間内	希望者
インターンシップガイダンス	4月3日(金)	18:00～19:00	希望者
前期科目登録(1次登録)結果発表	4月6日(月)～	9:00～	全員
前期授業開始	4月6日(月)		全員
前期科目登録修正期間	4月13日(月)～4月15日(水)	9:00～21:00	希望者
前期科目登録最終結果発表	4月20日(月)～	9:00～	全員
9月修了予定者修士論文計画書提出締切	4月28日(火)	23:59 締切	9月修了予定者
プロジェクト期間	5月25日(月)～5月27日(水)		全員
プロジェクト期間	6月18日(木)～6月20日(土)		全員
9月修了予定者修士論文提出締切	6月26日(金)	17:00 締切	9月修了予定者
9月修了予定者修士論文審査面接	7月16日(木)～7月18日(土)		9月修了予定者
9月修了予定者修士論文審査結果発表	7月22日(水)～		9月修了予定者
前期補講期間	7月25日(土)～7月31日(金)		履修者
前期授業終了	7月31日(金)		全員
夏季休業期間	8月1日(土)～9月20日(日)		全員
一斉休業期間	8月10日(月)～8月14日(金)		全員
9月修了予定者成績発表	9月8日(火)～		9月修了予定者
在学生前期成績発表	9月18日(金)～		在学生
9月大学院学位授与式(大学院全体)	9月20日(日)		9月修了者
9月公共経営研究科学位授与式	9月20日(日)		9月修了者

休日の授業実施日 (以下の指定日は通常講義を行います)

4月29日(水) 昭和の日
7月20日(月) 海の日

休日の授業実施日に応じた臨時休講日

4月30日(木)
5月1日(金)

後 期 2009年9月21日～2010年3月31日

行事	日程	時間	対象
9月大学院入学式(大学院全体)	9月21日(月)		新入生
9月研究科始業式/オリエンテーション	9月21日(月)		新入生
後期科目登録(1次登録)期間	9月21日(月)～9月25日(金)	事務所開室時間内	希望者
3月修了予定者修士論文計画書提出	9月24日(木)～9月25日(金)	23:59 締切	3月修了予定者
後期科目登録(1次登録)結果発表	9月28日(月)～	9:00～	全員
後期授業開始	9月28日(月)		全員
後期科目登録修正期間	10月5日(月)～10月7日(水)	9:00～21:00	希望者
後期科目登録最終結果発表	10月12日(月)～		全員
大学創立記念日	10月21日(火)		全員
プロジェクト期間	10月26日(月)～10月28日(水)		全員
プロジェクト期間	11月26日(木)～11月28日(土)		全員
冬季休業期間	12月23日(水)～1月7日(水)		全員
一斉休業期間	12月29日(火)～1月5日(火)		全員
3月修了予定者修士論文提出締切	1月9日(土)	17:00 締切	3月修了予定者
後期補講期間	1月30日(土)～2月5日(金)		全員
後期講義終了	2月5日(金)		全員
3月修了予定者修士論文審査面接	2月1日(月)～2月6日(土)		3月修了予定者
3月修了予定者修士論文審査結果発表	2月10日(水)	10:00～	3月修了予定者
3月修了予定者成績発表	3月11日(木)～		3月修了予定者
3月公共経営研究科学学位授与式	3月25日(木)	未定	3月修了者
在学生後期成績発表	3月26日(金)～		在学生

休日の授業実施日 (以下の指定日は通常講義を行います)

- 10月12日(月) 体育の日
- 11月23日(月) 勤労感謝の日

休日の授業実施日に応じた臨時休講日

- 5月 2日(土)
- 8月17日(月)
- 10月22日(木)

<2009年度 授業に関する留意事項>

2009年度授業日程および授業実施について、以下の点に留意してください。

1.2009年度授業日程について

b) 国民の祝日における授業実施について

各曜日ごとに15回の授業日を確保するため、以下の国民の祝日にも授業が行われます。

4月29日(水)	左記の4日は国民の祝日(昭和の日、海の日、体育の日、勤労感謝の日)ですが、通常通り授業を行います。この4日以外の国民の祝日は、授業を行いません。また、この4日に授業を行う代わりに、以下の休業日を設けます。
7月20日(月)	
10月12日(月)	
11月23日(月)	4月30日(木)、5月1日(金)、5月2日(土)、10月22日(木)

2.授業時間割変更について

2009年4月から、授業時間割を変更します。変更点および新時間割を確認の上、科目登録、科目履修をしてください。

変更点

- ・3～4時限、4～5時限、5～6時限の間の休み時間を、現行の10分から15分に延長します。
- ・休み時間の延長に伴い、4時限目以降の授業時間を変更します。

新時間割による授業時間および休み時間

太字部分が、現行の授業時間からの変更部分。

時限等	現行時間割	新時間割
1時限	9:00～10:30	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10	14:45～16:15
5時限	16:20～17:50	16:30～18:00
6時限	18:00～19:30	18:15～19:45
7時限	19:40～21:10	19:55～21:25

目 次

<専 門 職 学 位 課 程>.....	6
1 . 学 位.....	6
2 . 履 修 条 件.....	6
3 . 公 共 経 営 研 究 科 学 科 目.....	8
4 . 修 士 論 文 (政 策 提 言 論 文 を 含 む) 作 成.....	8
5 . 演 習 科 目.....	8
6 . 科 目 登 録.....	10
7 . 登 録 制 限 単 位.....	11
8 . 単 位 認 定.....	12
9 . 成 績.....	12
10 . レ ポ ー ト ・ 論 文 等 の 作 成 に 関 す る 留 意 事 項.....	14
<博 士 後 期 課 程>.....	14
1 . 学 位.....	15
2 . 研 究 指 導.....	15
3 . 研 究 進 捗 の 報 告 書.....	15
4 . 予 備 審 査 報 告 会.....	15
5 . 学 術 論 文 の 提 出.....	15
6 . 学 位 論 文 の 提 出 と 審 査.....	16
7 . 退 学 者 の 論 文 提 出.....	16
8 . 博 士 後 期 課 程 学 生 用 研 究 室.....	16
9 . 指 導 教 員.....	16
10 . そ の 他.....	16

<専門職学位課程>

1. 学位

専門職学位課程では、2年制コースと1年制コースがあり、それぞれ40単位以上の科目履修と修士論文合格の評価を得た場合、「公共経営修士（専門職）」英文名「Master of Public Management (MPM)」という学位を取得することができます。

2. 履修条件

(2年制コース)

修業年限

2年制コースは、4セメスター以上在籍（2年）を標準修業年限とします。

修了要件

2年制コース			
必須修了要件			
演習（修士論文含む）	コア科目	選択科目	合計
8単位（1）	8単位以上	修了要件単位に必要な科目数（2）	40単位以上

1：演習（修士論文含む）は、修士論文判定が合格となった段階で8単位の付与となります。尚、同科目の単位取得は全てのルールに、所定の手続きをもって演習を履修していることが条件となります。

2：演習（修士論文含む）/ 8単位、コア科目 / 8単位以上の単位取得は修了必須要件となります。各学生は修了要件単位到達に必要な残りの24単位をコア科目、もしくは選択科目より選択します。

単位取得方法 参考例

例：演習（修士論文含む）とコア科目のみで修了を目指す場合

演習（修士論文含む）/ 8単位取得 + コア科目 / 32単位取得

例：演習（修士論文含む）とコア科目を必要最低限取得し、残りの修了要件単位を全て選択科目にて取得し、修了を目指す場合

演習（修士論文含む）/ 8単位取得 + コア科目 / 8単位取得 + 選択科目 / 24単位取得

例：演習（修士論文含む）を取得し、残りの修了要件単位をコア科目と選択科目で半分ずつ取得する場合

演習（修士論文含む）/ 8単位取得 + コア科目 / 16単位 + 選択科目 / 16単位

(1年制コース)

修業年限

1年制コースは、2セメスター以上在籍(1年)を標準修業年限とします。

修了要件

1年制コース				
必須修了要件				
キャリア科目	演習 (修士論文含む)	コア科目	選択科目	合計
8単位	4単位(1)	8単位以上	修了要件単位に必要な科目数(2)	40単位以上

1: 演習(修士論文含む)は、修士論文判定が合格となった段階で4単位の付与となります。尚、同科目の単位取得は全てのルールに、所定の手続きをもって演習を履修していることが条件となります。

2: 演習(修士論文含む)/4単位、コア科目/8単位以上の単位取得は修了必須要件となります。各学生は修了要件単位到達に必要な残りの20単位をコア科目、もしくは選択科目より選択します。

単位取得方法 参考例 キャリア科目8単位を取得していることを前提とする。

例 : 演習(修士論文含む)とコア科目のみで修了を目指す場合

演習(修士論文含む)/4単位取得 + コア科目/28単位取得

例 : 演習(修士論文含む)とコア科目を必要最低限取得し、残りの修了要件単位を全て選択科目にて取得し、修了を目指す場合

演習(修士論文含む)/4単位取得 + コア科目/8単位取得 + 選択科目/20単位取得

例 : 演習(修士論文含む)を取得し、残りの修了要件単位をコア科目と選択科目で半分ずつ取得する場合

演習(修士論文含む)/4単位取得 + コア科目/14単位 + 選択科目/14単位

3. 公共経営研究科学科目

配当表(別紙)による

4. 修士論文(政策提言論文を含む)作成

公共経営研究科では2年制コース、1年制コースともに修了するための要件として修士論文合格を課しています。

通常の授業科目を履修することと並行して、修士論文作成のステップを踏んでいくことが必要となります。

研究計画書の作成

修士論文のテーマや概要、選択した背景、研究項目、研究の進め方などを記したものを「研究計画書」と呼び、修士論文作成のファーストステップとなります。

公共経営研究科では、出願の際に通常の大学院と比して詳細な研究計画を提出していますが、入学選考過程や演習授業を通じて修正することができます。

入学前の「研究計画」の修正は、定められた期間に行い、入学選考時のプランナーの確認を必要とします。

入学後の修正は、演習科目等で教員との協議の結果行われます。部分的な修正であれば、当該分野の教員の確認があれば可能ですが、当該分野の教員が「全面的な修正や核心部分の修正が必要である」と判断した場合は、研究科の意志決定機能である「研究科運営委員会」に諮られ方針が決定される場合もあります。修正する場合は、事務所・ホームページにて所定のフォームを受け取るようにしてください。

修士論文計画書の作成

修士論文に関する考え方を確認するために、修士論文を本格的に書く前に「修士論文計画書」を作成します。「修士論文計画書」は、修士論文の概要と修士論文の章立て及びその趣旨を記したものになります。

提出方法等詳細は研究科ホームページで公開します。



5. 演習科目

演習科目は、具体的な政策立案、改革提案などを修士論文という形で作成するために必要な指導を受ける科目です。

1年間で2セメスターに分け、更に1セメスターを3クールに分けます。1クールの構成は、テーマの提出、課題の提示、課題発表、課題評価の4要素からなります。入学時のファーストセメスターでは、演習授業のガイダンスを受講したのちに演習受講計画の概要を作成し、自身の研究の指針とします。(研究科への提出の必要はありません)

各クールでは、学生が扱いたいテーマを受講を希望する教員に提出します。提出を受けた教員は、学生の取り上げたテーマと学生のプロフィールブック等を基に課題を提示します。学生は、課題に関するリサーチペーパー(小論文)を作成し、発表を行い、教員は評価を行います。

1クールの流れ

学生	教員	運営方法
受講テーマの提出		テーマ・課題の提出方法は、教員ごとに異なりますので、別途お知らせします。 リサーチペーパーの発表・討論の方法・時間帯も、教員により異なります。この情報も教員ごとに発表されますが、他の授業と時間が重複する場合などの事情がある場合は、学生と教員が協議の上、個別対応をします。
	課題の提示	
リサーチペーパーの発表・討論 (同一クールに受講を希望した学生全員参加)		
	評価	
プロファイルペーパーを事務所へ提出		

2年制

1年間に最低5クールの受講をします。入学時の研究計画を大幅に変更する際には、1年次の最後に「研究計画書(修正版)」を提出することが必要です。1クールごと1教員の受講が望ましいと考えますが、研究計画上の効果を上げることなどの理由から、1クールに最高2演習の並行受講を許可します。また、最低でも3つの演習科目の受講をすることが必要です。

2年次の演習は、ファーストセメスター終了時まで「修士論文計画書」を作成します。「修士論文計画書」を基に、研究科では修士論文の主査および副査を決定し発表します。

1年制

演習科目は、1年間で最低6クールの受講をします。1クールごと1教員の受講が望ましいと考えますが、研究計画上の必要性や研究効果を上げることなどの理由から、1クールに最高2演習の並行受講を許可します。また、最低でも3つの演習科目の受講をすることが必要です。夏期休業期間終了時まで「修士論文計画書」を作成して、修士論文の中間発表をします。「修士論文計画書」を基に、研究科では修士論文の主査および副査を決定し発表します。

演習科目スケジュール

2年制(1年時)	2年制(2年次)	時期		1年制
オリエンテーション		4月	ファーストセメスター	オリエンテーション
ファーストクール	ファーストクール	5月		ファーストクール
セカンドクール	セカンドクール	6月		セカンドクール
サードクール	サードクール	7月		サードクール
		8月		
	修士論文計画書提出	9月	セカンドセメスター	修士論文計画書提出
ファーストクール	ファーストクール	10月		ファーストクール
セカンドクール	セカンドクール	11月		セカンドクール
サードクール	サードクール	12月		サードクール
	修士論文提出	1月		修士論文提出

6. 科目登録

4月登録

「前期」「前期集中」科目の登録を行います。所定期間に科目登録届けを提出し、研究科で確認をした上で登録が行われます。

9月登録

「後期」「後期集中」科目の登録を行います。所定期間に科目登録届けを提出し、研究科で確認をした上で登録が行われます。

集中授業の登録

「夏季・冬季・集中」科目は、上記とは別に届出を受付ます。時期・方法については、ホームページ・掲示等でお知らせします。

演習科目の登録

「演習」科目については、概要をオリエンテーション（4月2日に実施）で説明いたします。各クールの諸手続きについても、オリエンテーションで説明します。

他箇所科目の登録

公共経営研究科の科目以外に早稲田大学の他箇所（大学院を指し、学部等は除く）の科目を登録することができます。他箇所の科目登録は、各自の責任において行ってください。登録の時期、方法は、箇所によって異なっており、入学直後に手続きを行わなければならない箇所もあります。科目名や講義内容については、各箇所のホームページや公共経営研究科の事務所に閲覧用の講義要項・時間割（4月以降）を参照してください。科目によっては、他箇所の学生に登録を開放していない科目もあります。

他箇所科目を登録する場合は、所定の用紙を公共経営研究科事務所に提出し、承認を受けた上で、科目設置箇所に届け出を行ってください。公共経営研究科の承認が無い場合には、登録が認められません。登録をして取得できた単位は、上記届け出時に修了単位参入を申請し研究科で承認した場合、修了に必要な単位に参入することができます。

修了に必要な単位として参入できる単位数は、修了までに10単位を上限とします。この10単位には、入学前の単位認定、留学、他大学院での履修等による単位認定の単位数も含まれます。

登録の修正

「夏季・冬季・年間」集中科目と他箇所の登録を除いて、公共経営研究科の各科目については、研究科の定める期間に登録の修正を認めています。所定の用紙で事務所まで届け出を行ってください。

7. 登録制限単位

専門職大学院は、文部科学省の規程により1年間に履修できる単位数を定めなければなりません。本研究科では、1年間に登録可能な修了に必要な単位数を以下のように定めます（科目登録は、 Semester制で行いますので、年間履修計画をよく検討してください）。

2年制コース

- 1年次 40単位（演習4単位を含む）
- 2年次 40単位（演習4単位を含む）
- （3年次以降 修了に必要な残り単位数プラス4単位）

1年制コース

- 1年次 40単位（演習4単位を含む）
- （2年次以降 修了に必要な残り単位数プラス4単位）

8. 単位認定

入学前の単位認定（1年制コースの入学選考時の単位認定は除く）

公共経営研究科入学前に取得した他大学院の単位について、公共経営研究科運営委員会の承認を得た上で、10単位を上限として公共経営研究科の修了単位に算入することができます。なおこのカテゴリーの申請については、入学前（入学手続き）に所定の手続きを行っておく必要があり、入学後は申請することはできません。

在学中に留学等で取得した他大学院の単位

在学中に留学等により他大学の大学院において取得した単位を、公共経営研究科運営委員会承認を得た上で、10単位を上限として公共経営研究科の修了単位に算入することができます。なお、在学期間等については、学籍に関する説明をよく読んでください。上記両単位認定とも、単位取得先の機関・制度の違いにより、委員会で認められない場合もあります。また、両方の認定を受ける場合は、両方の認定をあわせて10単位が修了単位への算入上限になります。（例：入学前単位の単位として6単位認定を受けた場合、留学等で得た単位は、4単位までしか修了単位に算入することはできません）

9. 成績

本研究科では、授業科目の評価をA+（100～90）、A（89～80）、B（79～70）、C（69～60）、F（59～0）とし、A+、A、B、Cを合格、Fを不合格とします。（成績証明書には、A+、A、B、Cの科目のみ記載）

GPA制の導入

GPAとはGrade Point Averageの略で、米国の高等教育機関においては一般的な成績評価システムです。履修した科目の成績にそれぞれのポイントをつけ単位数を掛け合わせた総数を履修総単位数の和（Fも含む）で割ることで算出されるポイントです。

公共経営研究科でのGPAについては、以下の通りです。

成績基準

/ 素点	100 ~ 90	89 ~ 80	79 ~ 70	69 ~ 60	59 ~ 0	修了
成績通知書	A +	A	B	C	F	P
成績証明書	A +	A	B	C	非表示	P
英文成績証明	A +	A	B	C	非表示	P
判定	合格	合格	合格	合格	不合格	合格
G P A	4	3 . 7	3	2	0	対象外

G P Aの対象となる科目・区分

G P A対象科目	コア科目 選択科目 演習科目（修士論文含む） 他箇所・他研究科聴講科目
G P A対象外科目	認定科目

10. レポート・論文等の作成に関する留意事項

レポート・論文の提出、定期試験等は、厳正な実施を旨とします。学生としての本分に照らし、公正に作成、受験して下さい。不正行為があった場合、厳重な処分(無期停学、当該学期登録の全科目の成績無効等)を行いません。

早稲田大学大学院公共経営研究科

レポートにおける盗用・剽窃行為とは

大学生には、「レポート」と呼ばれる課題を執筆し提出する機会がしばしばあります。演習科目(少人数で、プレゼンテーションとディスカッションが中心になる科目です)では必ずレポートが課されますし、講義科目でも、通常の試験のほかにレポートの提出が課される場合、試験の代わりにレポートによって評価が行われる場合があります。レポートの執筆は大学生としての生活の重要な一部をなすと考えてください。

したがってレポートの書き方について注意すべきことは数多くあります。ここでは、一つだけもっとも重要なことを注意しておきます。レポートとは、課題図書、参考文献、資料などを読み、調べ、必要に応じてその内容を整理し要約した上で、自分の文章で自分の考えを述べたものです。書物やウェブ上のサイトからの、他人の文章の抜書きや丸写しは、レポートではありません。もちろん、ウェブ上の他人の文章をそのままコピー＆ペーストしただけのもの、あるいは一部でもそうした部分を含むものをレポートとして提出することは許されません。これは、試験におけるいわゆるカンニング(他人の答案や持込の禁止されている資料を写すこと)と同様、不正行為に当たります。レポートや論文の盗用・剽窃行為が発覚した場合、当該学期における全履修科目の成績無効をはじめとする厳格な処罰をもって臨みます。

ただし、他人の文章やアイデアをまったく利用してはならない、ということではもちろんありません。「引用」と「盗用」あるいは「剽窃」とは違います。レポートのなかで他人の文章をそのまま借用したり、あるいはレポートの中心になる重要なアイデアを他人の文章に頼ったりした場合は、その文章の出所を(つまり、だれがどこに書いた文章であるかを)、引用や参照のルールにのっとって示し、その部分は自分の書いた文章(あるいは自分で考えたアイデア)ではなくて、誰かから借りたものであることを明らかにする必要があります。そうすれば「引用」といえます。他人から借りた文章やアイデアの出所を示さずに、自分の書いたものとして(自分の名前と学籍番号を書いて)提出すると、「盗用」または「剽窃」となるのです。

どのように引用すれば不正行為にならないかは、講義のなかでもしばしば注意を受けるでしょうが、以下の参考文献に挙げられている書物を読んで、よく理解するよう務めてください。基本となるルールは次のものです。

他人の文章を書き写す場合(つまり引用する場合)には、かならずその文章全体を「」(一重カギカッコ)でくくる。文末の。(句点)は、「」の外に出す。引用文のなかに「」がある場合は、「『」(二重カギカッコ)に変える。そして著者名、著書(あるいは論文や記事)のタイトル、該当ページ数(および出版社や出版年)がわかるようにする。

例:「大学教師が剽窃にキビシク対処しようとするのはなぜだろう。アカデミックな世界には、『人がそれなりの努力を傾注して調べたり考えたりして到達した真理・知識は、基本的には人類すべてのものとして共有されるべきである。しかし、その代わりに、それを生みだした人にはそれ相当の尊敬が払われなければならない』という基本的なルールがある。剽窃はこのルールに違反している。論文の剽窃が厳しく咎められるということは、学生もこのアカデミックな世界の一員と考えられているということだ」(戸田山和久『論文の教室』、日本放送出版協会、2002年、34-35頁)。

ウェブ上のサイトからの引用の場合は、アドレスと、アクセスした日付けを明記してください。すでにワープロソフトの註作成機能になじんでいる人は、それを利用して脚註をつけてもかまいません。

文章をそのまま引用したわけではなくても、要約とかたちで利用したものの、アイデアを得るために参考にしたものがあれば、同じように著者名、タイトル、ページ数(ウェブサイトの場合アドレスとアクセスした日付け)を示すのがルールです。

とくにウェブ上の文章に関しては、「その文章は論文ではない」、「そのサイトに『無断引用を禁じる』と書かれていなかった」、「無料でリンクフリーのサイトだからいいと思った」などと言い訳する人がいますが、どれも通用しません。レポートにおける盗用または剽窃のポイントは、「学生が自分の文章でないものを、自分の文章として提出する」ということにあります。もともとのサイトの性格は問題ではないのです。たとえば、よく使われるサイトとして、新聞社や通信社のサイト、官庁のサイト、ウェブ上の事典・辞典の類、大学、高校、予備校などの教員が講義を補助する目的で開いているサイト、研究者や学生のウェブログや読書録、通信販売サイトの書評欄などがあります。いずれも無断で(レポートのなかで明示せずに)利用すれば盗用または剽窃に当たります。

以上は、「絶対にやってはいけないこと」についての注意です。どのような場合に引用や要約を行うべきなのか、一本のレポートのなかで、どの程度の分量を引用や要約に頼るべきか、といったことについては、レポートを書きながら学んでください。以下に掲げる参考文献が助けになるでしょうし、不明な点、心配な点があれば、教員に遠慮なく相談してください。いいレポートを書くためには、自己流の書き方ではだめです。「うまい書き方」の技術を学んでください。

参考文献

小林康夫、船曳建夫編『知の技法』(東京大学出版会、1994年)

戸田山和久『論文の教室』(日本放送出版協会、2002年)

浜田麻里、平尾得子、由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版、1997年)

以上

<博士後期課程>

1. 学位

博士後期課程に3年以上在学し(但し6年を超えることはできない)、所定の研究指導を受けた上で、学位論文を提出し、所定の審査に合格すると「博士(公共経営)」英文名「Ph.D in Public Management」の学位を取得することができます。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた学生については、本研究科運営委員会が認めた場合限り、大学院博士課程に3年(修士課程及び専門職学位課程に在学し、当該課程を修了した者)にあっては、当該課程における在学期間を含む)以上在学すれば足りるものとします。

2. 研究指導

博士論文の作成等に関する指導です。本研究科博士後期課程では、特定1名の指導教員による研究指導ではなく、複数の専任教員による共同研究指導を行います。

学生個々に対してその博士論文研究計画内容に応じ、公共経営研究科教員3名からなる指導委員会を構成し、この3名が共同で研究指導にあたります。指導教員については、学生個々の研究進捗により変更もありません。

また在学中の一定期間、本研究科の海外協定校等で在外研究・研究発表を行い、帰国後成果報告を実施することとします。

なお、研究指導の進め方は担当教員によって異なりますので指導教員の指示に従ってください。

3. 研究進捗の報告書

学生は毎年度所定の時期に、研究進捗の報告書(日本文5,000字程度または英文1,500語程度)を指導委員会に提出しなければなりません。

4. 予備審査報告会

指導委員会において研究進捗の報告書の承認を受けた学生は、調査研究を進めた後、指導委員会の承認を得て、予備審査報告会の開催を所定の申請書式を用いて研究科事務所に申請します。その際、申請者は予備審査報告要旨(A4版2枚程度)も提出します。

なお、予備審査報告会は公開で行い、指導委員会の3名の教員の他に2名の学内外の専門家が審査にあたり、合否を決定します。

5. 学術論文の提出

予備審査報告を修了した学生は、研究計画書に基づいて各学会誌等査読付の学術誌に掲載された自著論文、もしくはそれと同等の論文を1点以上、指導委員会に提出しなければなりません。

なお、この論文の執筆・掲載時期は問いません。

6. 学位論文の提出と審査

4. 及び5. の手続を経た学生で、最終的に学位論文を提出し、最終口頭試問を経た結果に基づいて、研究科運営委員会で合格と判定された者に、博士（公共経営）の学位が授与されます。

なお、学位論文は概ね日本語 10 万字以上 30 万字以内、英文 4 万語以上 12 万語以内とします。その他の提出書類および書式等については別途、定めるものとします。

7. 退学者の論文提出

また、論文を提出しないで退学した者のうち、博士後期課程に3年以上在学し、在学中に予備審査報告会を終了している者で、5. の手続を果たしたものは、退学した日から起算して3年に限り、指導委員会の許可を得て博士論文を提出し、6. の手続を受けることができます。

8. 博士後期課程学生用研究室

博士後期課程に在籍する学生用として26号館8階803教室を共同研究室としています。利用ルールを遵守し、共同利用してください。

9. 指導教員

公共経営研究指導	縣 公一郎	公共経営研究指導	小林 麻理
公共経営研究指導	石田 光義	公共経営研究指導	田勢 康弘
公共経営研究指導	稲継 裕昭	公共経営研究指導	塚本 壽雄
公共経営研究指導	江上 能義	公共経営研究指導	福島 淑彦
公共経営研究指導	片木 淳	公共経営研究指導	藤井 浩司
公共経営研究指導	岸本 哲也	公共経営研究指導	山田 治徳
公共経営研究指導	北川 正恭	公共経営研究指導	寄本 勝美

10. その他

学位申請等の諸手続きについては、研究科ホームページで公開いたしますので都度、確認してください。



早稲田大学 大隈記念大学院 公共経営研究科

F 169-6050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

TEL.03-3203-6150

FAX.03-3204-6957

E-mail:okumaschool@tel.waseda.jp

www.waseda.jp/okuma/osp/